

レシナストーン

取扱説明書

この度は、「レシナストーン」をご購入頂き、誠に有難うございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をお読みの上、正しく施工を行って下さい。

1箱（梱包内容）

○天然石（粒径3～7mm）	1袋（約20.0kg）
○バインダー（JU-41）	1缶（0.85kg）
○滑り止め材（珪石5号）	1袋（0.3kg）
○プライマー	1缶（0.15kg）
○取扱説明書（本書）	1部

（使用面積 10mm厚：約1.1㎡/1箱セット）

施工にあたって用意していただくもの

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ○モルタルミキサーなど（天然石骨材とバインダー混合用） | ○保護衣服 |
| ○刷毛またはローラー及び容器 | ○ゴム手袋 |
| ○レーキ、金ゴテ | ○保護メガネ |
| ○有機溶剤など（バインダー拭取り及び、使用工具類洗浄用） | ○有機ガス用防毒マスクなど |
| ○養生テープ、シートなど | ○頭巾など |
| ○ウエス | |

⚠ 施工上のご注意

- 本製品は大型車両乗入れ部などには適しません
- 本製品は天然石を使用していますので、色むらがあります。
- 施工下地の新設養生はコンクリートの場合は14日以上、アスファルトは7日以上養生を必要とします。
- 施工日に降雨の恐れのある場合、強風などで、硬化前に埃やゴミが付着する恐れのある場合は、施工を避けて下さい。
- 冬期、気温5℃以下、並びに夏期、気温35℃以上での施工は避けて下さい。
- 施工前のバインダーは日陰で保管するなど温度が上がらないようにして下さい。
- 施工中は水を一切使用しないで下さい、また現場付近での火の使用は避けて下さい。
- 天然石骨材が濡れている場合は必ず乾燥させてから使用して下さい。
- 周囲を養生してから施工して下さい。
- 階段などの立ち上がり面には施工できません。
- 残材の廃棄処理は、それぞれの廃棄規定に基づいた処理を必ず行って下さい。

⚠ 取扱上のご注意

- 材料の天然石骨材、バインダー、プライマーは水濡れ厳禁、火気厳禁です。材料の保管、施工には十分注意して下さい。
危険物 第四類 第四石油類 危険等級III
- 作業中は換気を良くし、有機ガス用防毒マスクなどを装着し、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- バインダーは、皮膚に付着すると薬疹を起こす可能性がありますので、手袋、メガネ、頭巾などを着用し、できるだけ皮膚に付着しないようにして下さい。
- 皮膚に付着した場合は石鹸などでよく洗って下さい。痛みや外観に変化がある場合は、医師の診断を受けて下さい。
- 目に入ったり、誤って飲み込んだりしてしまったなどの場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- 保管は、子供の手の届かない場所であり、且つ冷暗所にして下さい。

⚠ 使用上のご注意

- 舗装面が水に濡れると滑りやすくなる場合がありますので、歩行には注意して下さい。
- 裸足での歩行や、舗装面に強く触れるなどすると、肌を傷つける場合がありますので注意して下さい。

————— 施工後、本書をお施主様へお渡し下さい。 —————

施工手順

1. 下地・縁周りの処理

下地の不陸(凹凸)、欠損部、クラック(2mm以上)、などの不良下地は、あらかじめセメントモルタルなどで平滑に補修して下さい。

下地は十分に乾燥させ、表面の埃、油、土などの汚れを完全に除去して下さい。

縁石やレンガなどで縁の処理を行って下さい。

※施工面の下地はクラッシャーランを施工後、コンクリートまたはアスファルトの上層路盤を50~100mmの厚さで施工します。

※下地には2%程度の排水勾配をつけて下さい。

※下地の新設現場は養生と乾燥を十分に行ってください。



2. プライマーの塗布

プライマーを容器に取り、刷毛やローラーで下地に均一に塗布します。塗布量は1缶当たり約1m²が目安です。

塗布後表面が乾燥するまでしっかりと養生させてから次工程に進んで下さい。

※プライマーは天然骨材と下地との接着強度を上げるために下地に塗布します。

※プライマーはバインダーと混ぜないようにして下さい。



3. 天然石骨材とバインダーの混合

ミキサーなどで天然石骨材を空練りし、攪拌しながらバインダーを投入して、約2~3分間均一に混練りを行って下さい。混練り完了の目安は、天然石骨材の全周にバインダーが付着したことが確認できる状態です。

天然石骨材とバインダーの混合比率は、天然石骨材1袋に対しバインダー1缶です。

バインダーは開封した時点から硬化が始まりますので、開封から仕上がりまでの作業は、30分を目安に迅速に仕上げして下さい。

※発泡の原因となりますので、天然石骨材に水分がある場合は、必ず乾燥させてからご使用ください。また、付属の滑り止め材(珪砂5号)は混ぜないでください。



4. 天然石骨材の敷き均し

バインダーと混合した天然石骨材を施工面にレーキなどで10mm程度まで迅速に押し広げます。骨材が立たないように金コテで押さえ込みながら平滑に仕上げして下さい。一度混合した天然石骨材は一箇所に放置しないで下さい。

滑り止め材(珪砂5号)は必要に応じて金コテ仕上げ時に、適量を均一に散布して仕上げます。コテ滑りが悪い場合は、有機溶剤を染み込ませたウエスでコテを拭きながら仕上げして下さい。

※低温期はバインダーの粘度が上がリ、容器から出にくくなりますので、予め40℃のお湯に入れてバインダーの缶を暖めてから開封して全量を出して下さい。

※塗り継ぎを行う場合は、塗りつけた天然石骨材が硬化しないうちに行ってください。連続作業ができない場合は、いったん目地で切ってください。

※使用後のバインダーの付着している施工用具などは、速やかに有機溶剤などで洗浄してください。

※軽車両乗り入れ部などの重量物が載る場所の場合、天然石骨材を敷き均し後、転圧機などで転圧して下さい。転圧のときには施工面にビニールシートを巻いたベニヤ板(t=9mm程度)を敷き、その上から転圧機をかけると平滑に施工できます。



5. 養生

仕上げ後、施工面が硬化完了するまで養生します。

指触硬化時間は、温度により異なります。下記を目安として下さい。

〔指触硬化目安時間〕

冬期(5℃) 12~14時間

春秋期(20℃) 8~10時間

完全硬化までは、3~5日かかります。

夏期炎天下での施工は、硬化が促進され可使用時間が極端に短くなるため気温の低い日陰からか、早朝夕方などに施工して下さい。

※養生中は人や動物が立ち入らないようにし、水濡れ、降雨、強風に十分注意して下さい。

※完全硬化までに水濡れ、降雨、強風などの恐れがある場合は養生シートなどで保護して下さい。



TOYO
www.toyo-kogyo.co.jp

東洋工業株式会社

本社 〒760-0055 香川県高松市観光通1丁目2-14 TEL (087) 862-5411(代) FAX (087) 862-5418
http://www.toyo-kogyo.co.jp E-mail : head_office@toyo-kogyo.co.jp

滑り止め材(珪石5号)の施工について

滑り止め材(珪石5号)を使用して防滑効果を最大に発揮させるには、必ず金コテ仕上げ後バインダーが硬化する前に、適量を均一に散布して施工して下さい。

余分に散布しすぎた滑り止め材(珪石5号)は、施工面が完全に硬化したことを確認後、掃き出して下さい。

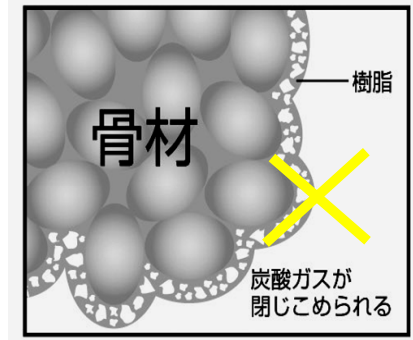
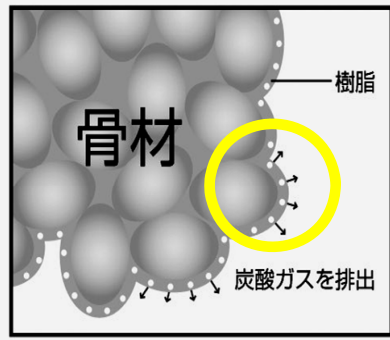
天然石骨材とバインダーの混合時に、滑り止め材(珪石5号)を適量に混入する施工方法もありますが、滑り止め材(珪石5号)がバインダーでコーティングされる為、防滑硬化を最大に発揮させる事が困難です。

発砲現象は予防できます



発砲現象とは・・・

ウレタン樹脂が硬化する際に炭酸ガスが発生するため、一箇所に過剰に付着した状態で硬化すると、骨材のなかに気泡が閉じ込められてしまい泡を吹いたような状態になってしまう事をいいます。



— 偏りによる発砲現象 —

硬化してしまった後は、ハツリ取り再施工となります。よって、施工後は発砲現象の有無を確認して下さい。

■ 発砲現象出現時間 ■
春～秋 2時間～4時間 冬 6時間
※特に夏場は注意が必要です。

発砲現象の予防方法

原因① 攪拌後のウレタン樹脂の偏りが原因。

対策

攪拌後は自然石全てを速やかに施工厚み程度に敷きならし、その後丁寧にコテ押さえを行なって下さい。又、容器底や隅に固着している自然石はウレタン樹脂量が多い為使用しないで下さい。

原因② 施工前における自然石の湿り、施工後の降雨や散水による急速硬化に伴う発砲現象 (出荷時検品済みの自然石は完全乾燥品です。)

対策

自然石を濡らさないようにしてください。
施工後は水分を嫌いますので12時間から24時間(季節による)は、水に触れないようご注意ください。

原因③ 練り置きが原因。

対策

攪拌後は1箇所に山状に置いておくと、山の底の部分に樹脂が溜まり発砲の原因となります。